

製品名: MCM2 (2B5) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03697**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	腹水

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 102 kDa; Observed MW: 125 kDa

抗原情報

遺伝子名	MCM2
別名	MCM2; BM28; CCNL1; CDCL1; KIAA0030; DNA replication licensing factor MCM2; Minichromosome maintenance protein 2 homolog; Nuclear protein BM28
遺伝子 ID	4171
SwissProt ID	P49736
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

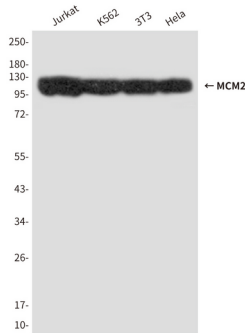
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、真核生物ゲノム複製の開始に関与する高度に保存されたミニ染色体維持タンパク質

(MCM) の一つです。MCM タンパク質によって形成される六量体タンパク質複合体は、複製前複合体 (pre_RC) の重要な構成要素であり、複製フォークの形成や他の DNA 複製関連タンパク質のリクルートメントに関与している可能性があります。このタンパク質は MCM4、6、および 7 と複合体を形成し、複合体のヘリカーゼ活性を制御することが示されています。このタンパク質はリン酸化され、タンパク質キナーゼ CDC2 および CDC7 によって制御されます。複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっていますが、一部のバリエーションの全長は未だ解明されていません。[RefSeq 提供、2012 年 10 月]

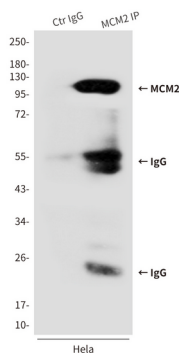
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

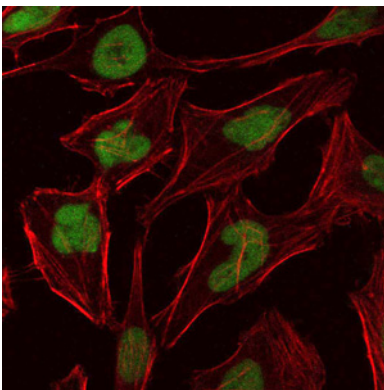
画像データ



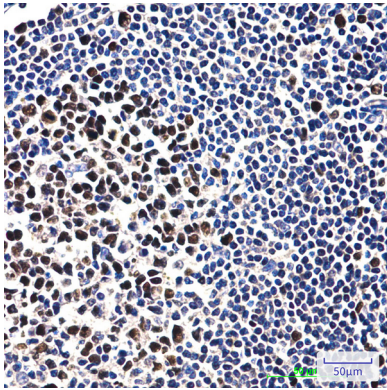
MCM2 抗体を使用した、Jurkat、K562、3T3、および HeLa 溶解物中の MCM2 のウエスタン プロット分析。



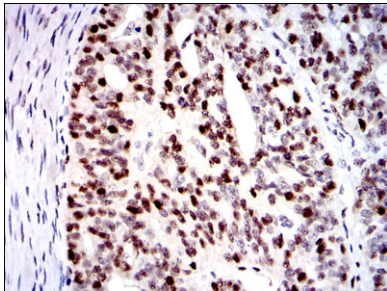
MCM2 抗体を用いた HeLa 溶解物中の MCM2 (2B5) の免疫沈降分析。



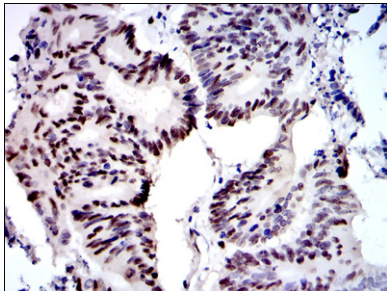
MCM2 抗体 (緑) と DAPI (青) を使用した HeLa 細胞における MCM2 (2B5) の免疫蛍光分析。



MCM2 (2B5) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



MCM2 (2B5) 抗体を使用したパラフィン包埋卵巣癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



MCM2 抗体を使用したパラフィン包埋大腸癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。